

あなたは演劇という言葉を知ったら、何を思いますか？世界中の人は演劇のことをエンターテインメントだと思っている人がたくさんいますが、私の演劇のイメージは教育です。今日は演劇を通して日本で英語を教えた経験についてお話をしたいと思います。

私は7歳からミュージカルをしていたので、演劇をすることは、私の人生の中でとても大切なことだと思っています。私は恥ずかしがり屋な子供でしたが、劇場では自分のこと見せることができました。初めは色々な人と話すのはとても怖かったし、とてもしずかな声で話したし、あまりたくさん人がいる所が好きではありませんでした。しかし、劇場で安心して楽しく話せたり友達を作ることができたり少しずつ自信を持つようになりました。演劇は人々に感動を与え、喜び、悲しみ、などの感情を豊かにしてくれると思います。

私は何かを演じることが好きだったので、その楽しさを子供に向けて教えたかったです。そして、私は11歳の時に、夏のキャンプでミュージカルを教え始めました。演劇と子供が好きだったので、とても良い機会だと思いました。

最近、演劇を通して第二言語を教えるということを世界的にしています。LeiとHuangによると、演劇を通して第二言語を教えることには4つ利益があります：その4つとは、モチベーション、自尊心、共感、そして自信です。私は、これらは大切なことだと思っています。劇場で学ぶことは安心して楽しくコミュニケーションについても学ぶことができると思います。

LeiとHuangの説明を読んだ時、とても興味を持ちました。だから日本で英語を学ぶ人にとって演劇がどんな風に役に立つかを見たいと思いました。それで、昨年日本に行って英語の教室で英語を教えました。

私は日本にいた時、言語学習はどれほど複雑かを学びました。その教室で、たくさん英語を勉強した子供さえもあまり英語のコミュニケーションができませんでした。しかし、演劇のアクティビティーや歌うこと、ダンスなどの幅広い方法で英語を教えたら二、三週間で、恥ずかしがり屋な子供でさえ、英語をもっと勉強したいと思いはじめました。

例えば、一人の三歳の女の子は初めて会った時とても恥ずかしがり屋でした。初めてのクラスの時に英語で紹介しました。私がその子に「Hi！How are you?」と言ってもその子は何も話ませんでした。私が「Do you want to play a game?」と言ってもまだ何も話ませんでした。しかし、そのクラスが終わるちょっと前に歌を聞いてフリーダンスの時間がありました。その時、その子はアナと雪の女王の歌を聞いてきゅうに大きい声で歌い初めて自信を持った表現力があるお姫様になりました。その後、まだ恥ずかしがり屋でしたが、少しずつ自信を持ってきて発表会の時には大きい声で話すようになっていました

私は演劇と言語学習が好きなので、子供達も言語学習が好きになるのを見てとても嬉しく思いました。充実感を覚えました。その時まで、演劇と言語学習はほとんど違うことだと思っていましたが、その教室で英語を教える経験で演劇を通して英語を教えることをできると気づきました。そして、私の夢を見つけました。将来、日本で演劇を通して英語を教えたいと思っています。例えば、自分の劇場を作ってそこで英語のレッスンや二ヶ国語のミュージカルをしたいと思っています。あなたがもし劇場で第二言語について学ぼうとするなら、私はとてもおすすめをします。

ご静聴ありがとうございました。

